

数学

神戸大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間 120分 解答問題数 5題

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)
難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

証明問題が昨年は出題されなかったが今年は数多く出題された。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法	数学Ⅱ	3次関数のグラフと直線の共有点の個数。	やや易
2	式と証明	数学Ⅱ	小数部分に関する論証。背理法。	標準
3	微分法・積分法	数学Ⅲ	媒介変数表示された曲線の図示と曲線で囲まれた部分の面積。	標準
4	空間ベクトル	数学B	座標空間上で三角形の面積の最小値を求める。	標準
5	微分法・積分法	数学Ⅲ	曲線の長さ。関数方程式。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

今年は数学Ⅲの分野から2題、昨年は3題出題されており、十分に対策しておきたい。
数学Ⅲ以外では場合の数・確率、数列、整数、ベクトルなどが出題されており、注意したい。
融合問題や目新しい問題も出題されることが多く、証明問題もよく出題されるから、実践的な演習で思考力を強化したい。